

事務事業評価表

1. 基本事項 作成日 令和08年06月19日(金)

事務事業		小・中学校教科書等整備事業		担当課	学校教育課	担当係	教育指導担当	管理番号	72245	
総合計画	大項目	2 次代を担う人と文化を育むまち		事業区分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務					
	中項目	1 共に学び成長が実感できるまちづくり		根拠法令 個別計画等	教育基本法第16条					
	小項目	1 「生きる力」を育む学校教育の推進								
	主要プロジェクト									
事業概要		教職員が使用する教科書・指導書・教材を一括購入、また、児童生徒が使用する副読本等を作成して、小・中学校に配付することにより、学校教育の充実を図るものである。								
目的 ※何のために		教職員の教育活動の維持及び授業内容の充実								
対象 ※誰・何を対象に		市内市立小・中学校の児童生徒及び教職員								
手段 ※どのように		教職員への指導書及び教材等の購入と配付								
成果 ※何を求めるか		授業内容の充実								
執行体制		☒ 職員 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 指定管理 ☐ 市民ボランティア ☐ NPO等 ☐ その他()								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額(円)
		一般会計	10	教育費	2	小学校費	2	教育振興費	小学校教科書等整備事業	5,166,914
		一般会計	10	教育費	3	中学校費	2	教育振興費	中学校教科書等整備事業	1,296,537
本事業の 主な業務		・教科用図書選定							・	
		・教科用図書選定会議の開催							・	
		・社会科副読本編集委員会の開催							・	
		・社会科副読本の作成							・	
		・教科書用図書給与事務							・	
		・進路副読本の選定							・	

2. 事業費(投入コスト) ※令和7年度は決算見込み額です。 単位: 円

区分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
年度別計画		教科書、指導書、教材等の購入副読本等の作成、購入	教科書、指導書、教材等の購入副読本等の作成、購入	教科書、指導書、教材等の購入副読本等の作成、購入	教科書、指導書、教材等の購入副読本等の作成、購入	教科書、指導書、教材等の購入副読本等の作成、購入	
事業費	予算(現額)	5,411,000	90,436,000	39,107,000	6,589,000	9,230,000	
	決算額	4,991,222	90,086,580	38,248,844	6,463,451	0	
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
		他特定財源	0	0	0	0	
		一般財源	4,991,222	90,086,580	38,248,844	6,463,451	9,230,000
人件費	従事職員数(人)	0.33	0.68	0.64	0.54	0.44	
	人件費相当試算※	2,596,954	5,446,913	5,262,235	4,577,631	3,875,735	
	総事業費試算	7,588,176	95,533,493	43,511,079	11,041,082	13,105,735	

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	
	目標値	実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
実績値の算出式										
活動指標 1	教職員指導書・教材購入数	目標値	冊							
		実績値		127.00	10,115.00	2,008.00	92.00			
	目標値の算定根拠/実績値の出所			年度により教職員数は変動するため、目標値の設定はしない/当該年度実績						
	実績値の算出式									
活動指標 2	児童生徒副読本作成種類数	目標値	種類	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00	
		実績値		3.00	3.00	3.00	3.00			
	目標値の算定根拠/実績値の出所			小学3・4年生用、5・6年生用、中学1～3年生用の3種 / 当該年度実績						
	実績値の算出式									
活動指標 3	児童生徒副読本配付数道徳読本	目標値	冊							
		実績値		3,487.00	3,308.00	3,274.00	3,272.00			
	目標値の算定根拠/実績値の出所			年度により生徒児童数は変動するため、目標値の設定はしない / 当該年度実績						
	実績値の算出式			小1、小4、中1 小1、小4、中1 小1、小4、中1						
成果指標 1	教科用図書、指導書及び社会科副読本を配付した学校数	目標値	校	29.00	29.00	29.00	29.00	29.00	29.00	
		実績値		29.00	29.00	29.00	29.00			
	目標値の算定根拠/実績値の出所			全小中学校（小学校19校、中学校10校） / 小・中学校配付校数						
	実績値の算出式									
成果指標 2	社会科副読本配付数（概数）	目標値	冊							
		実績値		2,327.00	2,185.00	2,252.00	2,417.00			
	目標値の算定根拠/実績値の出所			目標値の設定はしない / 小・中学校配付数						
	実績値の算出式									
成果指標 3	教職員用指導書配付率	目標値	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	
		実績値		100.00	100.00	100.00	100.00			
	目標値の算定根拠/実績値の出所			配布率100%を目標値とする / 指導書配付数/小中教職員数						
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
 目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
 事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に合う成果がでているかを評価します。
 （評価基準）（A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない）

（1）事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	市立小・中学校へ教科用図書・指導書及び社会科副読本を目標どおり配付することができた。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	資料のデジタル化を図るとともに、紙での配付を行うことで、双方の良さを活かした活用を進めることができた。
			評価者 課長補佐兼指導主事 小山 実紀子

（2）事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
 （評価基準）（A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない）

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	B	資料のデジタル化を図るとともに、紙での配付を行うことで、双方の良さを活かした活用を進めることができた。
			評価者 課長補佐兼指導主事 小山 実紀子